

第五十四回

熊本城（熊本県熊本市）

「櫓」主宰 江崎 紀和子 選

熊本市賞

城は人人は城とて梅は咲き

群馬県甘楽郡下仁田町 田中 康治郎

特選二句

楠若葉盛り上げてをり大天守

熊本県熊本市 中村 弘之

復興の天主閣見え梅香る

福岡県大牟田市 古賀 弘子

投句総数 二十六句

開函日 令和六年四月三十日

第五十四回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

奈良・斑鳩町賞

つちふるや秘仏は今も真暗がり

奈良県天理市 松田 吉上

特選三句

髭結ふ木偶の頭の麗らけし

京都府京都市 北村 峰月

うららかや人の声満つ始発駅

奈良県生駒郡平群町 金城 国子

制帽の白線二本菊若葉

奈良県生駒郡斑鳩町 内田 良平

投句総数 六十四句

開函日 令和六年四月三十日

第五十四回

子規庵（東京都台東区）

「櫟」主宰

江崎 紀和子 選

特選三句

子規庵へ花卉つけたまま向ふ

東京都台東区 宮崎 久實

硝子戸の棧すべらかに冬の蛇

東京都杉並区 西村 絵真

病床のすぐの玻璃戸に春日差

東京都練馬区 金谷 洋次

投句総数 二十四句

開函日 令和六年四月三十日

第五十四回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

子規はいく賞三句

百年の薨たくまし木の芽風

愛知県豊田市 鈴木 雅弘

草を刈る匂ひと春の風交ぢる

愛知県稲沢市 小崎 忍

S Lの転車台にも春の果て

岐阜県各務原市 伊藤 敦

特選三句

うつ向いて陽を待ちみたり片栗は

愛知県丹羽郡扶桑町 松原 継彦

ニヤーと鳴き片栗の花の影に寝

愛知県名古屋市長谷川 順子

枝垂梅造り酒屋の軒深き

愛知県犬山市 有本 仁政

投句総数 九十六句

開函日 令和六年四月三十日

第五十四回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

戦争の心のいたみ花の下

静岡県富士市 八木 勇人

古の戦艦眺む梅の花

千葉県千葉市 土橋 祐仁

春日和軍艦みかさ勇姿あり

岐阜県土岐市 加藤 美穂子

投句総数 五十六句

開函日 令和六年四月三十日

第五十四回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

開きぐせ探る朧の国語辞典

長崎県南松浦郡新上五島町 宮田 玲富

明日からがんばりますよ冬の空

大阪府大阪市 橋本 多郎

春風に旭日たなびく呉の海

大阪府茨木市 池山 和輝

投句総数 六十七句

開函日 令和六年四月三十日

第五十四回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

春愁や明治の本の持ち重り

埼玉県入間市 西村 小市

春雨や漱石山房軒を借り

東京都足立区 佐藤 裕樹

桜しべ降る漱石の猫の塚

埼玉県さいたま市 あね猫

投句総数 六十九句

開函日 令和六年四月三十日

第五十四回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選二句

桜薬降り積む雨の鶴ヶ城

神奈川県横浜市 波多野 緑

鶴ヶ城春のおとづれ感じるよ

神奈川県藤沢市 島倉 凜

投句総数 二十七句

開函日 令和六年四月三十日

第五十四回

東松山市（埼玉県東松山市）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

特選三句

春めくや爪研ぐ猫の大背伸び

埼玉県東松山市 新井 基文

内緒話片栗だけに聴かせけり

埼玉県東松山市 大井 津由子

初彫りの仏師の背なに桧の香

埼玉県東松山市 大井 正行

投句総数 六十一句

開函日 令和六年四月三十日

第五十四回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「櫟」主宰 江崎 紀和子 選

俳句のまちあらかわ賞

百才を目指して歩け梅ふふむ

埼玉県川越市 吉野 敬子

特選二句

憧れのグローブ届き春来る

東京都荒川区 谷井 千絵

春風に三つ編み緩く解されて

愛知県犬山市 紅紫 あやめ

投句総数 四十五句

開函日 令和六年四月三十日